

概要

1 企業概要

企業名称 東電同窓電気株式会社
代表者職氏名 代表取締役社長 町田和義
申請企業の所在地 横浜市西区桜木町

2 事業内容

本企業は、昭和 25 年に設立、総合電気設備企業として神奈川県下に本社を置き、7 事業場、千葉県下 1 事業場で構成（従業員総数約 270 名）して以下の事業を行っている。

- (1) 電力設備（配電・変電・送電・通信）の設計・施工・保守監理
- (2) 屋内電気設備の提案・設計・施工・保守管理
- (3) 情報通信システムの提案・設計・施工・保守監理
- (4) 空調・給排水の提案・設計・施工・保守監理
- (5) 環境・省エネ・設備（太陽光発電・電気自動車用充電器・LED 照明等）の提案・設計・施工・保守監理

3 安全衛生優良企業として評価できる事項の概要

企業（事業場）の取組みとして、企業トップが基本方針を示し、目標掲げ、本社に管理組織（本社安全衛生委員会）を設置、各事業場と連携し年間活動計画として管理、活動している。

長時間・過重労働対策、安全衛生にかかる対策について、随時、規定化し事業活動として実施している。

4 安全衛生全般の取組み 公開事例として安全衛生シートを添付

安全でリスクの少ない職場環境の整備

(1)安全活動計画の策定と着実な実施・・・・・・・・・・ 別紙事例①

全社年度安全推進計画（トップ方針周知と労使協調による活動計画等）を策定し、マネジメントシステム（P D C A）による着実な実施管理

(2)安全専任員を主体にした安全評価システムの構築・・ 別紙事例②

毎日、本社直属の安全専任員（安全コーチという）が事業所作業班（協力会社含む）に同行し、安全コーチは現場の T B M - K Y から工事終了まで安全確認等を行い、安全カルテシステムによる作業班別の安全評価をパソコンに記録保存し、結果集約と指導改善等により、安全ルール遵守を徹底

* T B M - K Y（ツールボックスミーティング 危険予知）

作業開始前に作業チームで、その日の作業内容による危険を予知、安全作業方法を定め、確認する職場単位の小集団安全衛生活動

健康で働きやすい職場環境の整備

腰痛予防対策による腰痛予防体操の習慣化・・・・・・・・・・ 別紙事例③

安全衛生シート

事例 ①

安全活動計画の策定と着実な実施

< 方針 >

一人ひとりが基本を忠実に守り、お客さまと社会に信頼される品質・安全第一の企業をめざす

< 安全活動計画概要 >

安全活動の基本施策

一人ひとりへ周知

- 細やかな伝達とメッセージの発信で情報共有
- 目標の掲示と唱和ですみずみにまで浸透
- ポイントを絞ったテーマでタイムリーに注意喚起

一人ひとりの努力

- 安全パトロール等で個別のスキルを継続的にサポート
- 基本動作の体得で不安全行動の撲滅
- ルールの携行により日々の読み合わせを習慣化

一人ひとりが徹底

- 客観的な振り返りで同種災害の再発防止
- 部門特有の危険と対策を繰り返し確認
- 全員参加のセレモニーで安全文化を定着

安全活動の展開実施

方針	実施事項	期間	上期	
周知	掲示	安全推進計画	1	
		安全スローガン	1	
		重点項目・運転6則	1	
	発信	安全朝礼	随時	18
	説明	安全活動方針	半期	6
		重点項目・運転6則	毎月	54
唱和	社長メッセージ	半期	100	
	努力	遵守	配電パトロール	441
配電同行確認			670	
部門パトロール			96	
訓練		激励パトロール	半期	8
	基本動作訓練	毎月	21	
反復	交通安全対策	半期	14	
	事故例検討会	随時	9	
徹底	確認	自主安全活動	半期	9
		ルールの読合せ	毎日	420
	協調	災害時の安全研修	都度	1
		再発防止の展開		4
浸透	災害情報の伝達	毎月	30	
	安全かわら版の伝達	随時	10	

【周知】安全唱和



【努力】安全パトロール



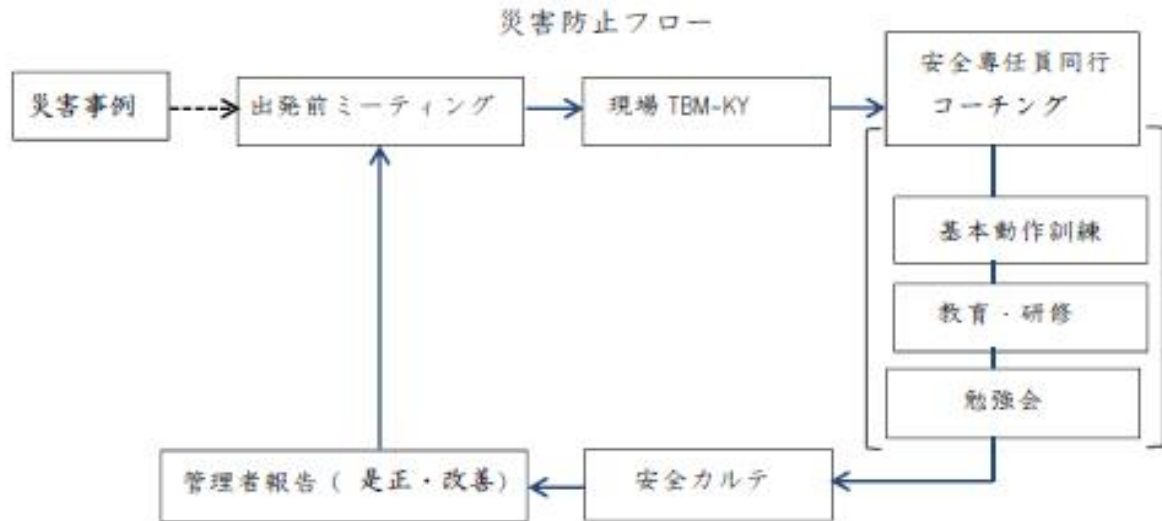
【徹底】安全ルール



< 方針 >

作業班への現場同行(コーチング)により作業手順や作業規定等を直接指導及び助言。
その内容を安全カルテシステムに記録し、関係者で共有・展開(PDCA)することで安全ルール遵守を徹底

< 安全専任員活動の概要 >



TBM-KY

コーチング

訓練・教育・勉強会

安全カルテ記録

管理者 (報告・連絡・相談)

<方針>

衛生管理者及び安全衛生推進者の衛生スタッフが主体となり、当体操の実施計画によりPDCAを回し、習慣化を行う。

<腰痛予防活動の概要>

計画

- ①毎週月曜日の営業所出発前に安全衛生推進者等がリーダーになり、会議室で所員全員が当体操を実施する。
- ②工事作業前、班長等がリーダーになり、現場で班員全員が当体操を実施する。
- ③家庭にて自身が当体操を実施し、腰部を中心とした腹筋、背筋、臀筋等の筋肉の柔軟性を確保する。
- ④安全衛生推進者等は、体操の実施結果を社員webの「安全記録」に登録し、記録を3年間保存する。

管理体制

- ①現場における腰痛への対応 …… 事業所
- ②安全専任体制による腰痛予防対策のチェック …… 安全環境部
- ③腰痛の調査及び予防対策の統括（産業医の指導助言を含む） …… 総務部



▲専門講師によるオリジナル腰痛予防体操講習会

5 安全衛生優良企業認定通知書の交付

交付月日 平成 28 年 1 月 15 日

場 所 神奈川労働局局長室

若生正之神奈川労働局長（画面右）より東電同窓電気株式会社 町田和義代表取締役社長（画面左）に安全衛生優良企業認定通知書を交付しました

